

申 立 て の 趣 旨

(□にレを付したもの)

□(退去命令)

相手方は、命令の効力が生じた日から起算して2か月間、申立人と共に生活の本拠としている住居から退去せよ。

相手方は、命令の効力が生じた日から起算して2か月間、申立人と共に生活の本拠としている住居の付近をはいかいしてはならない。

□(接近禁止命令)

相手方は、命令の効力が生じた日から起算して6か月間、申立人の住居（相手方と共に生活の本拠としている住居を除く。以下同じ。）その他の場所において申立人の身辺につきまとい、又は申立人の住居、勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

□(電話等禁止命令)

相手方は、申立人への接近禁止命令の効力が生じた日から起算して6か月間、申立人に対して次に掲げるいずれの行為もしてはならない。

- 1 面会を要求すること。
- 2 その行動を監視していると思わせるような事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。
- 3 著しく粗野又は乱暴な言動をすること。
- 4 電話をかけて何も告げず、又は緊急やむを得ない場合を除き、連続して、電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、若しくは電子メールを送信すること。
- 5 緊急やむを得ない場合を除き、午後10時から午前6時までの間に、電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、又は電子メールを送信すること。
- 6 汚物、動物の死体その他の著しく不快又は嫌悪の情を催させるような物を送付し、又はその知り得る状態に置くこと。
- 7 その名誉を害する事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。
- 8 その性的羞恥心を害する事項を告げ、若しくはその知り得る状態に置き、又はその性的羞恥心を害する文書、図画その他の物を送付し、若しくはその知り得る状態に置くこと。

□(子への接近禁止命令)

相手方は、申立人への接近禁止命令の効力が生じた日から起算して6か月間、子の住居（相手方と共に生活の本拠としている住居を除く。以下同じ。）、就学する学校その他の場所において、

ふりがな
子の氏名 (年 月 日生)

ふりがな
子の氏名 (年 月 日生)

ふりがな
子の氏名 (年 月 日生)

の身边につきまとい、又は同人 の住居、就学する学校その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

□(親族等への接近禁止命令)

相手方は、申立人への接近禁止命令の効力が生じた日から起算して6か月間、下記の者の住居（相手方と共に生活の本拠としている住居を除く。以下同じ。）その他の場所において下記の者の身边につきまとい、又は同人 の住居、勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

記

(1)	(住所、勤務先又は申立人との関係)
	ふりがな (氏 名)
(2)	(住所、勤務先又は申立人との関係)
	ふりがな (氏 名)

申立費用は相手方の負担とする。
との裁判を求めます。

申 立 て の 理 由

(□にレを付したもの)

1 私と相手方との関係は次のとおりです。

(1) 私の職業 ()

(2) 相手方の職業 ()

(3)－1 [申立人と相手方との関係が婚姻関係(事実婚を含む。)の場合]

私と相手方は、昭和・平成・令和 年 月 日婚姻届を提出した夫婦です。

私と相手方は、婚姻届は出していませんが、昭和・平成・令和 年 月 日ごろから夫婦として生活しています。

事実婚と認められないとしても、次の(3)－2のとおり交際関係です。

私と相手方は、平成・令和 年 月 (日)ごろ離婚(事実婚を解消)しました。

(3)－2 [申立人と相手方との関係が婚姻関係以外の場合]

私と相手方は、平成・令和 年 月 日ごろから交際関係にあります。

私と相手方は、平成・令和 年 月 日ごろ交際関係を解消しました。

私と相手方が共にしている(共にしていた)生活の本拠は、

当事者目録の 次の 住所です。

私と相手方の共同生活は、婚姻関係における共同生活に類似するもので、その事情は

陳述書記載の 次の とおりです。

(4) 相手方と同居を始めた時期 昭和・平成・令和 年 月 日

(5) 私は、相手方と現在も同居しています。

私は平成・令和 年 月 日ごろ、相手方と同居していた住居を出ました。

私の物 () は、まだ上記の住居にあります。

(6) 家族は私と相手方の二人 だけです。 の他に次の 人の同居者がいます。

・私と相手方との間の子

() (歳)、() (歳)

() (歳)、() (歳)

・それ以外の同居者

() (歳)、() (歳)

2 既に発令された保護命令事件の事件番号等は、次のとおりです。

(1) 地方裁判所 平成・令和 年 (配子) 第 号

発令年月日 平成・令和 年 月 日 (退去 接近禁止 電話等禁止

子への接近禁止 親族等への接近禁止)

(2) 地方裁判所 平成・令和 年 (配子) 第 号

発令年月日 平成・令和 年 月 日 (退去 接近禁止 電話等禁止

子への接近禁止 親族等への接近禁止)

3 私は相手方から以下のような身体に対する暴力や生命等に対する脅迫を受けました。

(1)①日時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

②場所 自宅の (自宅以外の)

③そのときの (身体に対する暴力、 生命等に対する脅迫) の内容

④そのときけがは、 (しました。 しませんでした。)

⑤けがの内容

⑥病院などの診療機関に、 (行きました。 行きませんでした。)

診療機関の所在地と名称

診療機関には、 (日入院、 日通院) しました。

けがが治るのに ぐらいかかりました (日数)。

(2)①日時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

②場所 自宅の (自宅以外の)

③そのときの (身体に対する暴力、 生命等に対する脅迫) の内容

④そのときけがは、 (しました。 しませんでした。)

⑤けがの内容

⑥病院などの診療機関に、 (行きました。 行きませんでした。)

診療機関の所在地と名称

診療機関には、 (日入院、 日通院) しました。

けがが治るのに ぐらいかかりました (日数)。

()①日時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

②場所 自宅の (自宅以外の)

③そのときの (身体に対する暴力、生命等に対する脅迫) の内容

④そのときけがは、 (しました。 しませんでした。)

⑤けがの内容

⑥病院などの診療機関に、 (行きました。 行きませんでした。)

診療機関の所在地と名称

診療機関には、 (日入院、 日通院) しました。

けがが治るのに ぐらいかかりました (日数)。

()①日時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

②場所 自宅の (自宅以外の)

③そのときの (身体に対する暴力、生命等に対する脅迫) の内容

④そのときけがは、 (しました。 しませんでした。)

⑤けがの内容

⑥病院などの診療機関に、 (行きました。 行きませんでした。)

診療機関の所在地と名称

診療機関には、 (日入院、 日通院) しました。

けがが治るのに ぐらいかかりました (日数)。

5 □ 私は、次のような理由から、相手方に対し、申立ての趣旨記載の私と同居している子への接近禁止命令を求めます。

(1) 子の氏名等

子への接近禁止命令を求める申立ての趣旨（3頁）に記載のとおり

(2) 相手方が上記の子を連れ戻すと疑うに足りる言動を行っていることその他、私がその子に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えるのは次のような事情があるからです。

6 □ 私は、次のような理由から、相手方に対し、申立ての趣旨記載の親族等への接近禁止命令を求めます。

(1) ① 接近禁止命令を求める親族等の氏名等

氏名

申立人との関係 □ 親族 ()

□ その他 ()

(※親族が申立人の子の場合のみ記載 年 月 日生)

② 私が上記の者に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えるのは、次のような事情があるからです。

□ 相手方は、下記の日時に下記の場所に押し掛けて、下記のような著しく粗野又は乱暴な言動をしました。

記

A a 日 時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

b 場 所

c 言動の内容

B a 日 時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

b 場 所

c 言動の内容

C a 日 時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

b 場 所

c 言動の内容

□ その他の事情 (上記の者が親族でない場合は申立人との具体的な関係を含む)

() ①接近禁止命令を求める親族等の氏名等

氏名

申立人との関係 親族 ()

その他 ()

(※親族が申立人の子の場合のみ記載 年 月 日生)

②私が上記の者に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えるのは、
次のような事情があるからです。

相手方は、下記の日時に下記の場所に押し掛けて、下記のような著しく粗野
又は乱暴な言動をしました。

記

A a日 時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

b場 所

c 言動の内容

B a日 時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

b場 所

c 言動の内容

C a日 時 平成・令和 年 月 日 時 ころ

b場 所

c 言動の内容

その他の事情 (上記の者が親族でない場合は申立人との具体的な関係を含む)

7 私は次のとおり、配偶者暴力相談支援センターや警察に相談したり、援助や保護を求めました。

(1) ①平成・令和 年 月 日ころ

②相談機関

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 京都府 () 警察署 | <input type="checkbox"/> (他府県) 警察署 |
| <input type="checkbox"/> 京都府家庭支援総合センター | <input type="checkbox"/> (他府県のDVセンター) |
| <input type="checkbox"/> 京都府南部家庭支援センター | <input type="checkbox"/> 京都府北部家庭支援センター |
| <input type="checkbox"/> 京都市DV相談支援センター | <input type="checkbox"/> 舞鶴市DVセンター |

③相談等の内容

- 相手方から申立ての理由第3項の () 記載の暴力等を受けたこと
- 申立ての理由第4項に記載のとおり、今後相手方から暴力を振るわれて、私の生命、身体に重大な危害を加えられるだろうと考えていること
- 申立ての理由第5項記載の子に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えていること
- 申立ての理由第6項記載の親族等に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えていること
-

④相談機関のしてくれたこと

- 保護命令制度の説明
-

(2) ①平成・令和 年 月 日ころ

②相談機関

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 京都府 () 警察署 | <input type="checkbox"/> (他府県) 警察署 |
| <input type="checkbox"/> 京都府家庭支援総合センター | <input type="checkbox"/> (他府県のDVセンター) |
| <input type="checkbox"/> 京都府南部家庭支援センター | <input type="checkbox"/> 京都府北部家庭支援センター |
| <input type="checkbox"/> 京都市DV相談支援センター | <input type="checkbox"/> 舞鶴市DVセンター |

③相談等の内容

- 相手方から申立ての理由第3項の () 記載の暴力等を受けたこと
- 申立ての理由第4項に記載のとおり、今後相手方から暴力を振るわれて、私の生命、身体に重大な危害を加えられるだろうと考えていること
- 申立ての理由第5項記載の子に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えていること
- 申立ての理由第6項記載の親族等に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えていること
-

④相談機関のしてくれたこと

- 保護命令制度の説明
-

()①平成・令和 年 月 日ころ

②相談機関

京都府 () 警察署

(他府県) 警察署

京都府家庭支援総合センター

(他府県のDVセンター)

京都府南部家庭支援センター

京都府北部家庭支援センター

京都市DV相談支援センター

舞鶴市DVセンター

③相談等の内容

相手方から申立ての理由第3項の () 記載の暴力等を受けたこと

申立ての理由第4項に記載のとおり、今後相手方から暴力を振るわれて、私の生命、身体に重大な危害を加えられるだろうと考えていること

申立ての理由第5項記載の子に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えていること

申立ての理由第6項記載の親族等に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えていること

④相談機関のしてくれたこと

保護命令制度の説明

()①平成・令和 年 月 日ころ

②相談機関

京都府 () 警察署

(他府県) 警察署

京都府家庭支援総合センター

(他府県のDVセンター)

京都府南部家庭支援センター

京都府北部家庭支援センター

京都市DV相談支援センター

舞鶴市DVセンター

③相談等の内容

相手方から申立ての理由第3項の () 記載の暴力等を受けたこと

申立ての理由第4項に記載のとおり、今後相手方から暴力を振るわれて、私の生命、身体に重大な危害を加えられるだろうと考えていること

申立ての理由第5項記載の子に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えていること

申立ての理由第6項記載の親族等に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えていること

④相談機関のしてくれたこと

保護命令制度の説明

陳 述 書

このたび申立人が保護命令を申し立てるに当たり、親族等である私への接近禁止命令も申し立てましたが、相手方が私の住居に押し掛けて著しく粗野又は乱暴な言動を行っていること、その他、申立人が私に関して相手方と面会することを余儀なくされると考えている事情は以下のとおりです。

Blank area for the statement with horizontal lines.

署名・押印	令和 年 月 日	印
-------	----------	---

(15歳から17歳の子または15歳以上の親族等用)

令和.....年.....月.....日

同意書

氏名（自署）

(名前は本人が書いてください。)

私.....は、裁判所が、申立人.....からの申立てに

(氏名)

(申立人の氏名)

よって、相手方.....に対し、相手方が私の身边につきまとい、又は

(相手方の氏名)

私が通常所在する場所の付近をはいかいはならないことを命ずることに同意し

ます。

(15歳未満の親族等用)

令和.....年.....月.....日

同意書

氏名..... 法定代理人親権者父.....

(子の氏名)

(父の氏名・自署)

法定代理人親権者母.....

(母の氏名・自署)

.....及び.....は、裁判所が、申立人.....

(父の氏名)

(母の氏名)

(申立人の氏名)

からの申立てによって、相手方.....に対し、相手方が.....

(相手方の氏名)

(子の氏名)

の身边につきまとい又は、.....が通常所在する場所の付近をはいかい

(子の氏名)

してはならないことを命ずることに同意します。